對面有時上之山ニ寳見之鄕木森道迎ヨリ白羽ノ鷹鳥三羽飛来而大戸ヲ發シ又ニ扇之峯ヨリ飛リ西安之木森ニ入ケルトナン是則大神之御シテセトニ云 此時厚正歳者九十三ト云厚正一男神主司中務厚明者本宮ニ有而日ニ夜ニ守護有之旨欲ト云 時ニ厚明二男與九郎三男兵藏者大勇將ニ而秀吉ニ加勢シテ北勢ヲ追責三四度也 後ニツカれテ大郎之中ニ討死ス右為追善西界ヲ荼曼羅法華寺三孫陵江寄附ス者也

世天正年中國中一流大乱度成故上之宮御神神殿之宮御神一之宮二之宮三之宮四之宮ニ本社之西脇之宮沼御本社之御神靈殿之内江鎮座ニ座也

元文人
伊香従四位下神祇大副兼兵衛督厚常

寶暦人
伊香正五位上神祇大副兼金吾厚宗

安永人
伊香正五位上神祇大副式部亮厚盛

寛政人
伊香従五位上神祇大副兵庫頭厚房

丹藏之系且俊

小辰丸厚一

文化人
伊香正五位上神祇大副左近大輔厚任

文政人
伊香従五位上神祇大副中務少輔道厚

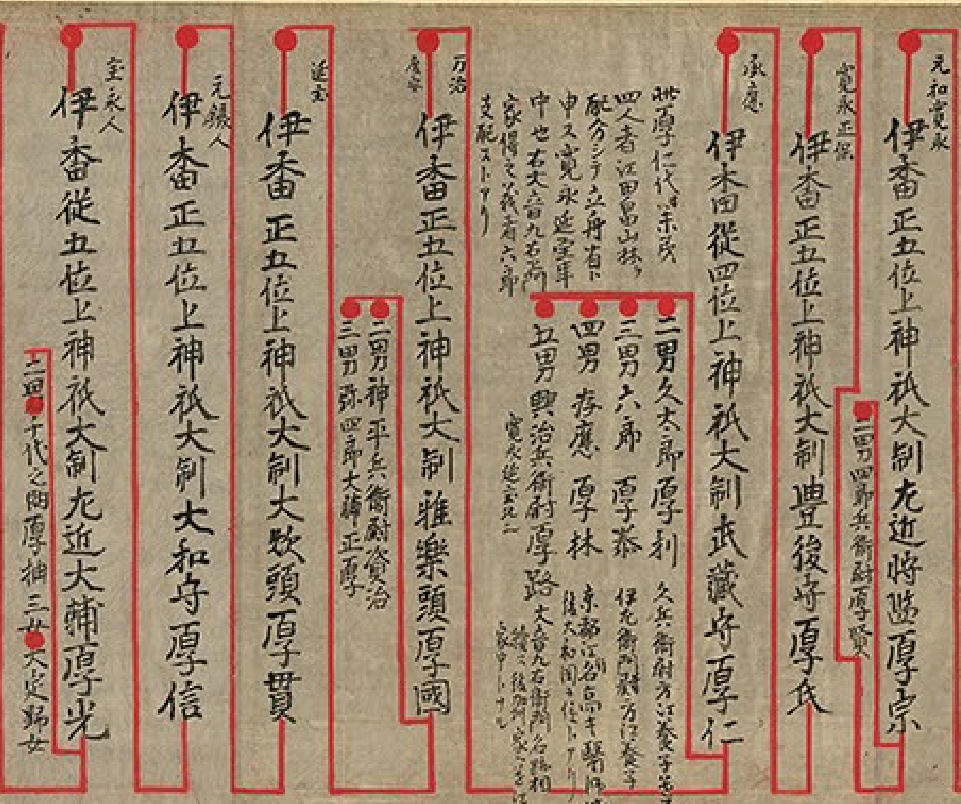
天保人
伊香正五位上神祇大副刑部大輔厚忠

大藏直久

權兵衛尉憲希

弘化
伊香正五位上神祇大副兼金吾憲厚

主膳正厚正者知仁勇三得之名君賢愛世之人知ル所也
此者天正年中賤ヶ嶽合戦之御神祖之宮寺復舊而
扇ヶ峯ニ登リ普代家来数十并岸田長田者供ヲ引還而
領分之道迎ヲ守玉ヲ其時秀吉賤ヶ嶽ヨリ下リ玉フ時
主膳正之山迎リ仕玉フ時右當與山峯ニ而秀吉曰大會面召時



元和寛永

伊香正五位上神祇大副右近将監厚宗

二男四郎兵衛尉厚賢

寛永正保

伊香正五位上神祇大副豊後守厚良

承応

伊香従四位上神祇大副武蔵守厚仁

此厚仁代ヨリ未段四人者江田島山林ヲ配分シテ出身有ト下申又寛永延宝年中也右大首九右衛門家傳之義有之六郎支配スト有リ

二男久太郎厚利　久兵衛尉方江養子ニ被召又

三男六太郎厚恭　伊兵衛尉方江養子

四男存慶　厚林　京都江罷出古寺ヲ継後大和国ニ住ストアリ

五男興治兵衛尉厚路　大音九右衛門名跡相続ニ後御判家之継ヰトナル

寛文延宝元二

万治寛文

伊香正五位上神祇大副雅楽頭厚国

二男神平兵衛尉資治

三男孫四郎大輔正厚

延宝

伊香正五位上神祇大副大炊頭厚貫

元禄入

伊香正五位上神祇大副大和守厚信

宝永入

伊香従五位上神祇大副右近大輔厚光

二男

十代之間厚袖

三女

大足婦女

應仁文明人
伊香従四位下神祇大副河内守資顕

資顕二男神祇四郎厚芳
同三男賀兵衛尉常且

明應人
伊香正五位上神祇大副左衛門尉資長

資長二男厚宗
同三男厚信

文亀
伊香従五位上神祇大副大炊頭資厚

大永
伊香正五位上神祇大副刑部大輔資光

二男大炊介之正
三男伊豫介正命

天文
伊香正五位上神祇大副雅樂頭厚重

弘治
伊香正四位下神祇大副主膳正厚正

二男四郎正利
三男主馬正武

天正
伊香従四位神祇大副中務少輔厚明

二男與九郎厚通
三男兵蔵厚伊

文祿
伊香正五位上神祇大副大藏權守厚善

二男四郎兵衛尉厚光

（親之六男）神六郎親包

号萬歳女（親包 旧女ニ）

（親包一男）六郎左衛門親武

（此）監物助貞

（二）兵衛次郎盛親

（此）十郎

（三）左衛門三郎實長

（此）與一助親

（應永人）伊香正五位上神祇大副刑部大輔助方

（正長人）伊香従五位上神祇大副刑部大輔助重

（宝徳人）伊香従五位上神祇大副山城守資行

（助重二男）左衛門尉資忠

（同）三郎資國

（同）四郎吉厚

（同）長命丸（五歳）資参

長命丸男資久

同二男資貞

同三男厚安

厚安一男三郎五郎厚興

此厚興者文明年中人也

俗名者南黒田東神田之

播住又

同二男厚忠

同三男厚経

同四男厚度

此厚度者東郷鄉村住又

同五男厚総

資行二男八郎資徳

同三男九郎資憲

同四男若市丸資直

同五男松郎丸資長

此資長資鎮之養子也

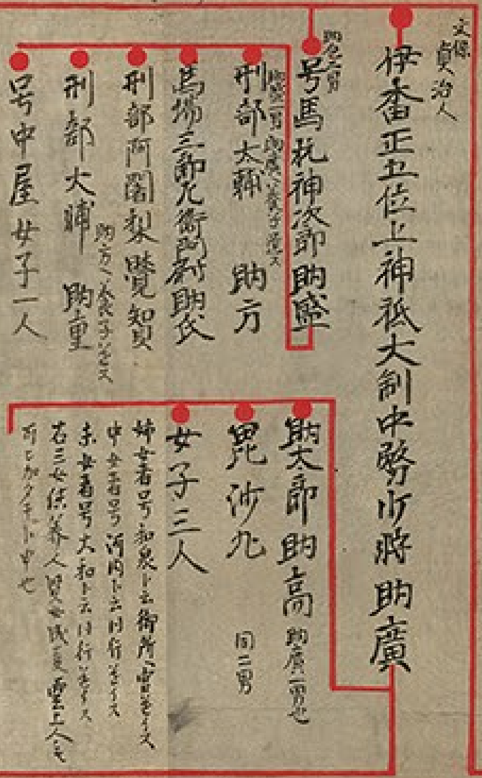
三郎資國一男資清

同二男厚国

同三男後厚

有實自助吉手錄得社領内西布施村同姓号布施ヲ今布施在所者富田御之内也此時文永五年六月三日守護役親之時申御免ヲ由石作ヲ先祖四郎右馬貞孝磯野先祖新三郎兵衛盛貞連署状ヲ出ス石作ハ布施磯野ノ先祖之事本ハ伯耆國者也平家滅時當郡ヘ落来今ニ石作カ屋舗事主ハ平氏有ヲ穢ミ来ケル立入テ年月ヲ経ル間家主ヲ猶様ヲ有ニ夫婦ト成而後貧男ヲ夫妻ヲ致シ結句文書ヲ獲ツリく千此跡ヲ取而政田郡内堀ヨリ妻ヲ迎ヘ彼女姓懐妊七月ニ成ケルカ石作三ノ子産シ男子是ニヨリ三男ニ立則磯野カ先祖也此文書隠防モ皆大ト申ケルトナン磯野者富貞ノ末葉氏ニソク十二人ノ子有嫡子石作二男ハ布施三男磯野ナリ且石作者藤原氏之磯野布施者源氏也

△先達而父助廣死去後直ハ上助高而不寿故當田職役讓與就備助方也彼助方依無子為養子舎弟養重役讓與神主職也　自助盛年録讓獨野并地頭公文之職兼置光院別當刑部阿闍梨



（文保貞和人）
伊香正五位上神祇大副中務少將助廣

（助廣二男）
号馬祝神次郎助盛

（助盛一男依無子舎弟ニ養子譲又）
刑部太輔　助方

馬場三郎九衛門尉助良

刑部阿闍梨賢覚知賀

刑部大輔　助重（助方ニ養子ニ譲又）

号中屋　女子一人

助太郎助高（助廣一男之）

毘沙丸（同二男）

女子三人

姉女者号和泉ト云御所ニ宮仕ス

中女者号河内ト云同所ニ宮仕ス

末女者号大和ト云同所ニ宮仕ス

右三女依為人質母武家重上人ニモ

何モカタクチト申也

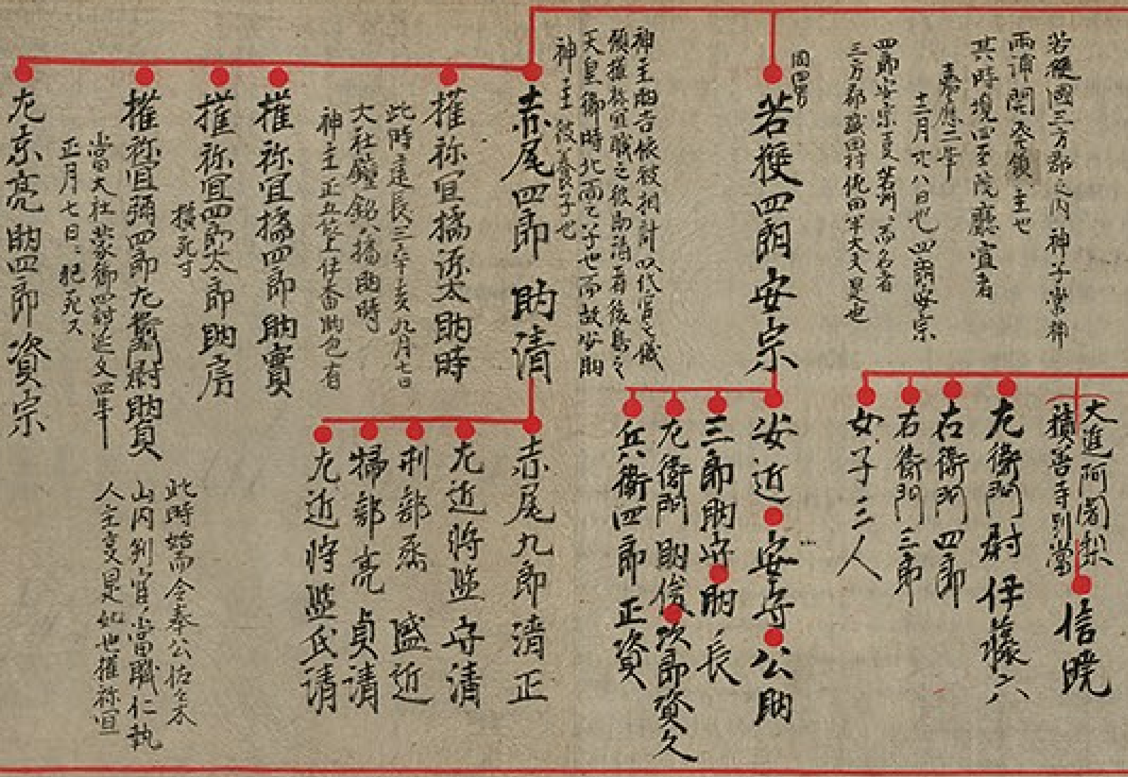
助光自安助手令讓得権禰宜職并神遺寺野領山畠ヲ而ノ後日ニ
會見神主助吉ヲ討テ會見田井八郎保秀ニ被知行此儀故（吉 助重）
其事無路顕而養和元年十月廿一日 助吉普代横井五良左衛門
長田兵藏岸田清大夫主従四人ニシテ 助光ヲ討其後助吉可知行
称宜職故安房之由雖被相討望諍申之間以代官之儀被預置
故神主安助養子壽見四郎 助清是ニ被討助光時有男子助忠
令母後小子ヲ貞見下向関東致御内奉公之間是又子生長ノ後伊太左
衛門助忠同関東御内奉公令也彼助忠子孫依為先祖ノ所領職
令相論称宜職之處以和与ノ儀去後文主書半分雖致其沙汰先
代哉己ノ例伊太左衛門皆力時令當称宜得讓被和談道一円所
令知行也不詮此称宜職ハ伊香友次男乃代々知行之處今ノ称宜ハ
則令之領主也可存安助手讓得後系下司職也

（養和元年討人）
伊香從四位山将神祇大副左近大夫 助吉

（延慶五加入）
伊香從五位上神祇大副主代守助包
此時延慶二庚子四月八日富永伸次入道臨時祭之時依流鏑馬論刹別也

- 二 左近将監助直（大宮祝職）
- 三 信濃房傳良盛
- 四 神四郎道吉
- 五 神五郎助貞
- 布施大郎有實

- 六 左衛門次郎有信
- 七 左衛門大郎有羅
- 八 加藤次源左衛門有良
- 九 左衛門尉又八郎
  - 武貞又太郎
  - 女子



若狭國三方郡之内神子常神
両浦開發領主也
其時獲四至院廳宣者
壽永二年
三月廿八日也 四郎安宗
四郎安宗至若州而名者
三方郡[illegible]田村枕田宇大夫是也

（同四男）
若狭四郎安宗

神主幽香條殺祠討四代官之職
幷權祢宜職之後助清者後鳥〻
天皇御時北面之侍也而故安助
神主後[illegible]養子也

赤尾四郎 助清

權祢宜橘孫太郎助時
此時建長三年辛亥九月七日
大社炎燒鎰八幡臨時
神主正五位上伴香助包者

權祢宜橘四郎助實

權祢宜四郎太郎助房
横死す

權祢宜橘四郎左衛門尉助貞
當大社炎燒御社造文四年
正月七日、配死ス

左京亮 助四郎 資宗

大進阿闍梨
横善寺別當
信曉

左衛門尉 伊藤六

右衛門四郎

右衛門三郎

女子三人

安道
安守
公助

三郎助守
助長

左衛門助俊
次郎資久

兵衛四郎 正資

赤尾九郎 清正

左近將監 守清

刑部丞 盛近

掃部亮 貞清

左近將監 武清

此時始而令奉公始之本
山内判官當職仁執
人文永是如也權祢宜

（保元永万人）
伊香五位上　神祇大副右近將監安助

伊香従四位小次郎左衛門尉助光

伊太左衛門尉徳子摩呂資貞忠

[illegible]二男伊左衛門尉　資重
[illegible]

同三男宮内左衛門尉　重致
[illegible]

此時自鎌倉右大将家被託諸國御家人名帳時以
御使源内定遠可令勤仕當役由雖被仰依為神職
自堅辞申所及度々間以代官令勤仕之同時嘉禄三
年四月神宮藤太布施太郎職行刑部丼口仲次
以下輩依令望請御家人役被與奪案被等中當
代輩一圓令勤仕神宮被同時神官人数十五人
被定置同代運久六年被相傳稲谷於草毛為
一疋馬主藤原國重

同三男
田井八郎保房
（自安御手譲得）
（後三条下司職）
（嘉禄死ノ人）

（保房一子）
伊藤太盛安
（後三条下同嫡女）
（号千寿司王女）
女子三人

（保房次男）
伊藤次　宗安

左衛門尉吉房

辰王兵衛尉吉貞

左衛門次郎宗吉

女子三人

（康保安和人）伊香正五位上神祇大副雅楽頭厚紀

大和介政経
備中守政方
左衛門尉厚尹

右衛門尉致道
六郎道直
七郎親家

（長保寅癸人）伊香正五位上神祇大副中務少輔範厚

（治安二年寿人）伊香従五位上神祇大副刑部大夫厚頼

祢宜神祇大副時望
民部大丞行持

左京亮厚真
左近将監真（助）
大炊介助春

左（安）衛門尉有基
左兵衛尉雅春
新左兵衛門有助

（寛徳天喜人）伊香従五位上神祇大副刑部大夫諸厚

祢宜神祇大副左近将監師英

（治暦延久人）伊香正五位上神祇大副中務少輔厚英

（康和人）伊香正四位上神祇大副右衛門督助厚

祢宜神次良大夫助郡
子女四人

（大治天養人）伊香正五位上神祇大副柏原禅大夫助延

（仁寿人）
伊香三位左衛門督厚政

△桓武天皇御宇、安直家
勅授之宮、此時属代開發、
此始神主司宮官位職之
厚勝之尚神社官之職之従
代々伊香郡神社管領之

（貞観元慶人）
伊香五位上神祇大副雅楽頭厚代

神祇大炊頭厚重
刑部致持
左衛門尉重信

左兵衛尉良信

（寛平延喜人）
伊香従四位上神祇大副雅楽頭厚行

古今集ニハ此歌作者イカゴノアツユキトアリ

東乃方へまかりける
人によみてつかはしける

思へともみをし
わけねは
めに見えぬ
心を君に
たくへてそやる

（延長天慶人）
伊香従四位神祇大副中務少輔厚雄

次郎大監物厚方
又太郎致元
左京亮行包

兵庫助行良
民部大丞行基

又次郎助富
神五郎行忠
神八郎忠文

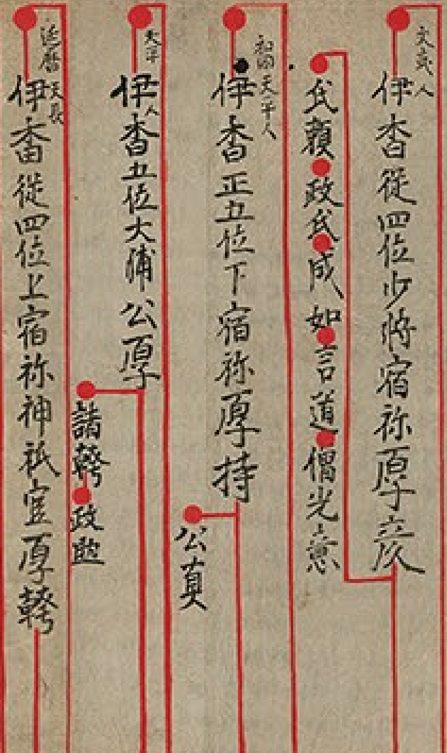
九郎左近尉頼
新左衛門忠直
左兵衛尉冬

女子一人

延喜神名式曰　伊香巨神社

名神大　伊香郡四十六座　（大神一座也　小神卌五座也）

三代實録曰貞觀元年正月廿七日京畿七道進階及新叙奉授位記近江國従五位上勲八等伊香神従四位下又云同七年閏七月近江國従四位下勲八等伊香神従四位上



従四位上宿祢馮忠豐

従五位上中務少輔宿祢馮忠房

伊香三位宿祢豐厚

伊香正四位宿祢豐武

△天武天皇御宇白鳳十辛巳年
以伊香字爲賜姓氏則馮忠房
伊香之郡開発領主令也

△伊香本宮鎮座〻地名下云香爾〻谷之尾之谷者中之谷之要森也
上山之大御神宮之名四宮實父親森〻鎮座上〻也一宮者天神高〻命也二宮
天多称役命也三宮者乾津丘命也四宮大御食津丘命則伊香五社也
爾〻字香之尾之谷〻皆谷〻名也東谷瀬〻名者當其之流水也中瀬名者
實父整瀬水也是則上之宮本宮之御手洗水也西谷〻鎮座〻者神潤瀬命
則瀬〻名者〻中也上宮〻鎮座之御巖〻原神大御宮者天津兒屋根命也要森
鎮座之本宮之西社者〻鎮座〻豐厚大神兄〻鎮座〻者豐武大神也此時二

△文武天皇御宇慶雲二乙巳年以大庭宿〻勅復立云〻伊香郡開発領主馮〻〔?〕勅
依而伊香祖神依耕上而一郡之中于香山之所之伊香丘山〻中而南〻山本小男
祭當川是山北谷東〻里西〻播津谷号是也是則馮〻一男豐厚〻神孫長父神
条乳谷復為神主代〻是支配而稍〻者也

△阿加総神社是則大小比古命〻以而嘉尾良〻緒〻尾村〻鎮座〻神是也
西里宮鎮座〻神者岩是丘命〻以而黒田[illegible]〻也
大音鎮座〻神者勝其命也伊香〻大丘東〻大音神是也則大音氏大祖神也
系見神社者是役野宇八代安閑天皇御宇也仁賢天皇〻女春宮山田皇子
春宮后東多〻系見白王子皇也　則伊香郡卅六座者伊香大社〻山田神主之後〻之
神子孫也　其外之社神者皆小神中也是大社之支當伊香大神也

抑當大社神事祭乳者依當家御參達自昌泰
歲己未四月廿四日被始置之神事儀式請當家
之御厚行所令侍是也此時同當家御自筆
法華経二部金光明経被納置于神殿也
當寛平七年也同額御自筆也

正一位勲一等大社大明神

宇佐津臣命 大御食津臣命

伊香津臣命 梨津臣命

神聞勝命 久志宇賀主命 國摩大鹿嶋命

臣狭山命 跨耳命 大小橋臣命 阿麻比舍卿命

雷大臣命 阿毘臣大連 真人大連 賀麻大夫

黒田大連 國摩大連 常盤大連 中臣可多能祐大連

御食子卿 大織冠鎌足大臣 不比等卿

武智麻呂 南家

房前大臣 北家

宇合大臣 式家

中臣麻呂 京家

△國摩大鹿島命第四卷皇城纒向垂仁天皇廿五丙辰
皇大御神伊勢國百船度會縣佐古久呂宇治五十鈴
川上鎮理定座　時從天津兒屋根命九世之孫
中臣國摩大鹿島命祭宮主定給以降迄而小田治宮
御宇推古天皇御位元年癸丑年興廢繼絶供其
職御食子大連公家宣旨供奉不絶如常御食子之
父可多能祐大連公生三男別爲三箇門也則一男中臣
御食子大連公爲一門之祖二男中臣國子大連公爲
二門之祖三男中臣糠手子大連公爲三門之祖也

正二位左大臣國經 正二位右大將常行

從五位上常致 正四位上宿祢憑常

伊香藤原系圖

天御中主尊 天八下尊 天御下尊 天合尊

天八百日尊 天八十萬魂尊

天皇産靈命 神皇産命 津速魂命

市千魂命 興登魂命

天津兒屋根命 天神雲命 天多祢伎命